



第71号

平成28年9月30日

スポーツ少年秋田

AKITA JUNIOR SPORTSCLUBS ASSOCIATION

発行／秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916



日独同時交流で得た経験

にかほ市リーダー会 高校2年 石船青空

第43回日独スポーツ少年団同時交流事業において、日本団は7月31日(日)～8月16日(火)までの期間、フランクフルトやベルリンでの全体プログラムと日本の各地域に分かれた班での地方プログラムに参加しました。全体プログラムのフランクフルトでは、フランクフルト市長表敬訪問・歓迎式に参加し、フランクフルト市庁舎の「皇帝の間」という歴史ある部屋で温かく歓迎していただきました。その後、班ごとの市内オリエンテーリングでは、大聖堂を見学したり、EU加盟国の象徴であるユーロマークを見たりしました。メイン川沿いを歩きながらの研修だったのでとても気持ち良かったです。また、歴史あるヨーロッパの街並みと国際色豊かな都市の景観から日本ではなかなか見られないような建築や文化を目で見て体感しました。

地方プログラムでは、2つの地域に行き、ホームステイも2軒の家に去了きました。1つ目はバイエルン州のヴォルバッハという地域に行き、2つ目は同じ州のロアという地域に行きました。地方プログラムでは班のメンバーやそれぞれのホストファミリーとラートやミニゴルフなどのスポーツをしたり、地元のお祭りや運動会に参加したりして交流を深めました。またどちらの地域でも日本団側とドイツの受け入れ側でお互いの国の料理を作り、振る舞う機会もありました。私たちはヴォルバッハでは肉じゃが、ロアでは巻き寿司とみそ汁を作りました。ドイツの方々はとても美味しいと喜んで食べてもらえたので、私たちも嬉しく思いました。また、「フェアプレイ」に対するテーマディスカッションでは、両国側の考える「フェアプレイ」の意義やそれについての共通点、自分のやっているスポーツにおいての「フェアプレイ」の考え方などを交換し、充実したテーマディスカッションになりました。

どちらの地方でも素敵なホストファミリーに出会い、たくさんの友達ができ、日本を出発する前に抱いていた不安はすぐに消え、充実した18日間を過ごすことができました。一生忘れられない素敵な出会いの数々をくれたこの日独同時交流に参加でき、大変嬉しく思います。日本では味わうことができない経験や、交流を通じて出会った人たちとの思い出を胸に、これからのリーダー活動や学校生活、自分の人生に活かしながら更に成長していきたいと思ひます。それに加えて、貴重な体験ができるこの日独スポーツ少年団同時交流事業の参加経験者として、もっと多くの人に体験してもらえよう、この事業の良さを自ら発信していきたいです。

第53回秋田県スポーツ少年大会 兼 ジュニアリーダースクール

第53回秋田県スポーツ少年大会が7月29日から7月31日まで、由利本荘市岩城少年自然の家などで開催された。全県から団員71名が参加。講義（リーダーについて）、ポイントラリー・ニュースポーツ体験（ラート）・野外炊飯・キャンプファイヤー・スポーツ活動などが行われた。

参加者の感想

湯沢少林寺拳法スポーツ少年団（湯沢市）

中学校1年 高橋 哲哉

今回のジュニアリーダースクールでは、分団長をやり、みんなをしっかりとまとめられたと思うのでよかったです。

活動で一番思い出に残ったことは、キャンプファイヤーです。みんなと楽しんで、おどったダンスやレクリエーションは、とても楽しく、みんなで協力できました。それに、僕は女神様から、協力する勇気ももらったので、これからは、いろんな面で協力したいです。

このような体験ができたのは、リーダーや指導者のおかげだと思っています。だから感謝の気持ちでいっぱいです。今回体験したことをこれからの活動に活かせるようにがんばりたいと思います。

田沢湖柔友クラブスポーツ少年団（仙北市）

小学校5年 田口 央雅

ラートは、おもしろかったけどこわかったです。でもたのしかったのでもう1回やりたいです。高橋選手の金メダル、銀メダル、銅メダルを見せてもらってよかったです。

角館陸上スポーツ少年団（仙北市）

中学校3年 新山 郷

1日目は、まだまとまりがなく、話を聞かない人もいて怒られる事がありました。2日目のポイントラリーでは、疲れてきげんが悪くなり、ぐだぐだし始めまとまりなくなりました。

部屋でまくら投げをして、片付けずになくなるなど、問題も起きました。そんな時リーダーさんが「もう少し強いっていいよ」と言ってくれたので、話を聞かない人に今までより自信を持って注意することができました。キャンプファイヤーの時に座ったままの人がいて「やろうよ」と言っても動かなかったの、その人たちを動かせるくらいになりたいと思いました。



象潟バスケットボールスポーツ少年団（にかほ市）

小学校6年 阿部 凌大

ポイントラリー、「A」など書かれたかんばんをさがし、ポイントがたまるものでした。最後のほうになると足がつかれ高得点のものほど場所がとれ、のぼりが多くてきつかったです。けど全部とれて優勝できたのでよかったです。

ジャングルkidsスポーツ少年団（にかほ市）

小学校5年 荒木 春香

わたしは、テントでねたことがないので、最初ねぶくろの使い方やテントの使い方が分からなかったけど、係の人がていねいに説明してくれたので、組み立て方やテントの後かたづけのしかたが分かりました。

テントを立てるのが少しむずかしかったけど、7分団で協力できてよかったです。

青雲柔道スポーツ少年団（能代市）

中学校3年 田村 怜花

今回、参加して周りを見て行動することができました。分団長として活動している時に、全員そろっているか人数確認したりして、行動することができました。しかし、話し合いの場面でみんなをまとめたりすることができなかつたのが残念でした。

分団の活動では、目標である「協力して仲良く過ごす」を達成できたのではないかと思います。特に2日目のポイントラリーや野外すいはんで協力して活動できたと感じています。

リーダー会の人たちのように発言力のあるリーダー、みんなをまとめられるリーダーになれるようにがんばりたいと思います。

大潟村複合型スポーツ少年団（大潟村）

小学校6年 屋敷 歩夢

ジュニアリーダースクールに行って良かったなと思ったことは、カレーライスを作ったことです。ぼくは米をといだのと火の管理をしました。米をといで釜にクレンザーをぬるのがたいへんでした。火の管理は、うちわであおいで火力をたかめるのやまきをいれる作業がむずかしかったです。そして色々な作業をしてやっと完成しました。毎日食べてもあきない味でした。

第47回東北ブロックスポーツ少年大会

第47回東北ブロックスポーツ少年大会が8月6日から8月8日まで国立岩手山青少年交流の家で開催され、秋田県から指導者1名団員4名が参加した。ナイトハイク・鞍掛山登山・キャンプファイヤー・スポーツ活動などを通し交流を深めるとともに団員の資質を高めた。

参加者の感想

SNOWスポーツ少年団（大館市）
中学校3年 小松原 幸

私は、8月6日から8日の3日間、岩手で開催された東北ブロックスポーツ少年大会に参加しました。

今回は、活動班の班長を任されたので少し不安もありましたが、団員はみんな協力的で仲が良く、話し合いもスムーズで、班の活動は大変盛り上がりしました。

また、初対面の人にも積極的に話しかけることで、たくさんの友達ができ、充実した3日間を過ごすことができました。

今回学んだことは、リーダーがみんなの意見を引き出し、自ら積極的に行動することで団員が協力しあい、まとまった活動ができるという事です。

私もこのような機会に恵まれ、精神的にも成長できたことに感謝しています。更に今回学んだことを、地域のスポーツ少年団の活動に生かしていきたいと思えます。

鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団（北秋田市）
中学校1年 斉藤 夢望

今回の、東北ブロックスポーツ少年大会で一番楽しかったことは1日目の夜にやった卓球大会です。ラケット以外で、うちわやスリッパ、鍋ぶたなどでやりました。ダブルスでやったので班の人達と仲良くなることができました。野外炊飯では、班のみんなと協力し友情が深まりました。他の県の人たちと接したり、親しんだりしてあらためてルールを守って団体行動をすることの大切さを学びました。

鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団（北秋田市）
中学校2年 高橋 すみれ

今回の大会は、私にとって2回目の大会でした。昨年の大会の倍以上楽しい思い出ができました。

一番心に残っているのは、キャンプファイヤーのスタンプです。班員みんなで考えたイベントを全員で楽しむことができ、嬉しかったです。

今回の大会が成功したのは、教えてくださった先生方、そして見守ってくれた親のおかげです。それから友達にも、何度も助けられました。みなさん、本当にありがとうございました。今回の大会で学んだことは、今後の学校生活や部活、日々の生活に生かしていきます。3日間ありがとうございました。

SNOWスポーツ少年団（大館市）
中学校2年 谷地森 詩音

私は、東北ブロックスポーツ少年大会に行って、最初は自分から話すことができなかった。しかし、活動をしていくうちに他の班の人や他の県の人と話し、仲よく交流することができた。コミュニケーション能力が少し高まったと思う。

私が、この東北ブロックスポーツ少年大会に参加して特に心に残った活動は、鞍掛山に登ったこと。最初は、そんなに大変じゃないと思ったが、登っていくうちにだんだんつかれてきて大変だった。しかし班の人たちと声をかけ合うなどして登っていくと大変だったが頂上にたどりつくことができた。頂上から見る景色は、きれいで登ってきて良かったと思った。この鞍掛山登山は大変だったが、交流がさらに深められ、このころには、だいぶ仲よくなることができた。

この東北ブロックスポーツ少年大会では、集団生活のマナー、ルールを改めて学ぶことができた。そして、コミュニケーション能力も高まった。これからの生活にも生かしたい。



第39回競技別交流大会



6/12 サッカー TDK総合スポーツセンター 28団 560名



7/23~24 バレーボール 県営トレーニングセンター 57団 784名



7/24 柔道 秋田県立武道館 24団 253名



8/10~13 軟式野球 さきがけ八橋球場 16団 333名



8/21 水泳 五城目町屋内温水プール 45名



お弁当の配達承ります。

会議、研修会、各種スポーツ等

630円より様々な種類のお弁当をご用意しております。

※配達は10個からとさせていただきます。

歓迎会、送別会

(ご予算に応じて承ります。)



青少年交流センター
有限会社 県庁食堂

レストランユースパル

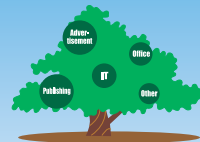
秋田市寺内神屋敷3-1
TEL. 018-880-2310
FAX. 018-880-2319



目指せ世界の頂点!



がんばる
ジュニア
応援します



あらゆるニーズにお応えする
松原印刷社
〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
TEL 018-862-8760(代)
FAX 018-863-0005
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>
E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

平成28年度 秋田県スポーツ少年団「育成重点事項」と、その基盤となる「秋田県スポーツ少年団育成5カ年計画」を策定しました。

秋田県スポーツ少年団は課題の対策に向け、日本スポーツ少年団等の動向に沿いながら今年度の育成重点事項を定めた。(◎は最重点事項)

平成28年度 秋田県スポーツ少年団 育成重点事項
メインテーマ「フェアプレイで日本を元気に」

—あくしゅ・あいさつ・ありがとう—

1. 組織の機能充実

◎育成5カ年計画の施行、◎団活動指針の徹底、○指導者倫理規程の周知徹底、◎Web登録の支援

2. 指導者育成と資質の向上

◎認定員養成講習会開催(12コース)、○認定育成員資格取得の推進、○複数有資格指導者の配置の継続、◎認定員等再研修会の充実～①著名講師の講演・意見交換会・実技研修等、②ACP指導者養成講習会等の幼少期活動充実のための研修、③日本本部「登録者処分基準」の周知、○指導者協議会・ワーキンググループとの連携、○アンケート結果の課題の検討～①幼少期団員加入の条件整備、②対外試合参加数・活動休止日の設定、③暴力・暴言等の根絶

3. 育成母集団活動の活性化

○育成母集団活動の充実と資質向上～①育成母集団研修会、②各市町村指導者協議会への働きかけ

4. 関係機関・団体等との連携推進

○学校・行政機関等との連携推進、◎各競技団体・総合型地域スポーツクラブ等との連携推進

5. 県リーダー養成と支援の確立

○リーダー養成と活用機会の拡充～①リーダー会活動の充実、②ジュニアリーダー、シニアリーダー養成・活用、○各種交流会・研修会への派遣、○日独派遣団員の活用

6. 団員・指導者の拡大

○団員・指導者の加入促進(特に女子団員・女性指導者)

7. 団員の派遣

○全国・東北スポーツ少年大会等への派遣

8. 楽しく、元気に、安全な活動の推進

○全県スポーツ少年大会の奨励と運営、○各競技別交流大会の運営、○「フェアプレイ宣言・フェアプレイ大賞」参画の奨励、◎「あくしゅ・あいさつ・ありがとう」の推進

9. 積極的な広報活動の推進

○アンケート調査結果の周知、○県版広報(年2回)、○「スポーツの楽しさと豊かさを求めて」の活用・改訂検討、○チラシ・リーフレット、ホームページ等による情報発信

また、平成25年度に県内の団を対象に実施したアンケート調査に基づき、浮かび上がった諸問題の解決と、2020東京オリンピックを契機とした今後の展望も踏まえ「秋田県スポーツ少年団育成5カ年計画」(H28～32)を策定した。

「秋田県スポーツ少年団育成5カ年計画」

1 組織の基盤強化

(1)「団活動の指針」の見直しと徹底

- ①対外試合・大会参加数の制限(上限)設定
- ②中体連に足並みを揃えた活動休止日の設定
- ③県登録規程の内規設定

(2)「倫理規程」の見直しと徹底

- ①日本本部の処分基準の導入
- (3)関係機関・団体等との連携強化
 - ①学校及び行政機関との連携強化
 - ②競技団体及び総合型地域スポーツクラブ、青少年団体等との連携強化

2 指導者・リーダー養成及び指導体制の拡充

(1)指導者資格の取得促進

- ①各単位団複数有資格者の継続配置
- (2)リーダー資格取得促進及びリーダー活動の充実
 - ①リーダー未設置市町村への設置働きかけ
 - ②リーダー・リーダーOBの活躍の場の開発
- (3)指導者・育成母集団の研修促進
 - ①有資格者等再研修の義務化
 - ②低年齢化の拡大に伴う研修内容改善
 - ③暴力根絶のための研修・キャンペーン実施

3 活動の充実

(1)団員の加入及び継続活動充実、キャンペーン実施

- ①新規団員の獲得
- ②中・高生の活動継続の促進
- (2)活動プログラムの研究・活用
 - ①アクティブ・チャイルド・プログラム等の普及
 - (3)PR活動の充実・強化
 - ①「スポーツの楽しさと豊かさを求めて」改訂・活用
 - ②末端に伝わるチラシ・リーフレット等の推進
 - ③ホームページ等のコンテンツ強化
 - (4)大規模交流イベントの実施
 - ①全国スポーツ少年大会等招聘
 - (5)2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組
 - ①「フェアプレイ宣言及びフェアプレイ大賞」参画の奨励
 - ②「あくしゅ・あいさつ・ありがとう」運動の推進

「みんながヒーローになるために」

中通ルS野球スポーツ少年団 6年 鈴木 廉人
 現在部員21人、日々練習に励んでいます。僕たちのチームは、中通小、旭南小、旭北小の3校合同チームです。学校は違いますが、バハとつに・カハとつに感謝の気持ちを持ってがんばっています。5月の学童軟式野球大会ではくやしい結果に終わってしまいましたがその悔しさをバネに、レベルアップできるような一丸となって、さらに練習に力を入れて取り組みました。その結果、A交流で準優勝し、県大会に進むことができました。監督、コーチをはじめとする指導してくださる全てのみなさんの期待に応えられるようなプレーをしていきたいです。そしてこれからも、どんなときもあきらめない心をつちかて行きたいです。



「支えてくれてありがとう」

大雄野球スポーツ少年団 6年 小玉 峻也
 僕達、大雄野球スポーツ少年団は、団員27名で全県出場という目標をたて、日々練習に励んでいました。春は、なかなか勝てなかったけれど、高円宮杯で全県ベスト8まで行くことができました。それは、かんとく、コーチ、父兄の方々のおかげだと思います。忙しい平日でも練習に来てもらったり応援の曲を考えてくれたり、バッティング、守備、走塁を教えてもらったおかげだと思います。これからは、今までいっしょにやってきた五年生以下の団員に頑張ってもらって、僕達以上の結果を残してもらいたいです。そして、今まで教えてもらったことや応援してもらったことなどを胸に中学校でも頑張っていきたいと思っています。監督、コーチ、父兄の皆さん本当にありがとうございました。



汚れ

消しゴムの汚れが目立たず、キレイに使えます。

消しゴム モノ PE01 ブラック 63円 (本体価格 60円)

Tombow

PLASTIC ERASER

MONO

Tombow

汚れに強いブラックボディ

消し
クズ

紙面上の消しクズが見やすく、処理が容易です。

消しゴム モノ PE04 ブラック 105円 (本体価格 100円)

MONO

株式会社トンボ鉛筆
<http://www.tombow.com>

あちらこちら

「気持ちは一チームで1つ」

比内町トランポリンスポーツ少年団 高校1年 佐藤 杏佳
 現在団員約18人、週1回の練習を頑張っています。保育園児から高校生と様々な年代の団員で仲良く、のびのびと練習しています。時には、気持ちが高ぶり、心ざけたり、遊んでしま、この一瞬に注意される人もいました。始めは、上手く跳べなからり大会でアレッジャーに負けて失敗してしま、た事もありませんが、何回も練習して自信をもてるようになったり、小さな大会でも大きな大会でも入賞できる人が増えたと思います。
 トランポリンは、台に乗、たらし一人で演技しなくてはならないが、気持ちは、チームで一つだと思、います。その気持ちは、水からの生活でも、いろいろな所で出てくると思、います。1つ1つの演技は、いさゝもですが、それを綺麗に見せるのが私の大切な事だと思、います。



感謝の気持ちを忘れずに

平沢野球部スポーツ少年団主将 六年 熊谷 豪大
 僕達平沢野球部は、**全員野球**のスローガンの下、週三回の練習を元気に頑張っています。現在の部員は23名。その中に女子部員が4名もいます。力と元気は男子部員、細かな所は女子部員が気を利かせてくれて、とても仲が良く、バランスのとれた野球部です。

平沢野球は入部すると野球技術より先に、大きな返事、挨拶、靴の整頓を学びます。今では全員がどこへ行っても当たり前に行けるようになりました。

また、僕達が晴れの日も雨の日も、思いっきり練習ができるのは、地域の皆さんのおかげです。そしていつも支えてくれている監督やコーチ、親の会の皆さんに感謝の気持ちを忘れずに、残りのスポ少生活を大好きな仲間と大好きな野球を頑張りたいと思、います。



INEX

株式会社 アイネックス



パソコン専門店 COM

<http://www.inecx.co.jp>

本社	〒010-0063	秋田市牛島西一丁目4-5	TEL 018-887-5560	FAX 018-835-5666
建築事業部	〒010-0063	秋田市牛島西一丁目4-5	TEL 018-836-0330	FAX 018-836-0331
ITサポート事業部	〒010-0041	秋田市広面字鍋沼37	TEL 018-831-3131	FAX 018-831-2211
能代営業所	〒016-0852	能代市出戸本町14-35	TEL 0185-55-3780	FAX 0185-55-3750
大仙営業所	〒014-0047	大仙市大曲須和町2-2-20	TEL 0187-62-6630	FAX 0187-62-6610

夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

夢を支える応援団

下新城小学校女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

監督 伝野 勝

「大きな声で元気よく何をやるにも一生懸命に頑張る」この一年のチーム目標を掲げ、日々の練習に取り組んでいます。現在は11名の団員で中川愛心キャプテンを中心に勝利を目指し体育館を走り回っています。6年生2人とチーム経験が少なく体力も十分ではないチームですが、正月の全県大会出場、その大会の優勝という夢に向かって頑張っています。夢を実現させるため、またその夢に向かって一歩でも近づけるためにも、子供達の潜在能力を早く見極め質の良い練習に繋がりたいと思う毎日です。走る。跳ねる。投げる。全てのスポーツの基礎となるバスケットボールに真剣に取り組んでいる子供達の応援団長は監督ではないでしょうか。このバスケットボールを通じ、これからも心身共に成長していく子供達のサポーターまた応援団長として最善を尽くしたいと思います。子供達の夢をかかなえるため保護者の応援団の皆様、これからも全県一の応援よろしくをお願いします。



仲間とともにめざそう! 東北大会

美郷町バドミントンスポーツ少年団

保護者会 会長 中川 忠俊

美郷町バドミントンスポーツ少年団は、町内3地区の小学1年生から6年生までの70名で活動しています。

新入団員が入団して4カ月。最近では基礎的なことができるようになり、少しずつ大きな声も出し合えるようになりました。また学校が違っていてもみんな仲良く、明るい雰囲気練習しています。

団員数が多いため、コーチの方々がひとりにさける時間は多くはありません。その中で上達するためには個々に目標をしっかり持ち、日々の練習に取り組むことが大事だと思います。ぜひ多くの団員が県大会上位入賞、東北大会出場をめざして頑張してほしいと思います。

そして子供たちには練習や試合をとおして喜びや悔しさを味わい、仲間と一緒に頑張ることの楽しさを学んでほしいと思います。



スポーツ安全保険

スポーツ安全協会 検索 インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部
(公財)秋田県体育協会内

〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内

TEL018-883-0360

電話受付時間: 午前8時30分~午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付しております。



携帯電話から
資料請求ができます。



誠くん

スポーツ活動
以外の団体も
加入できます。



千春ちゃん